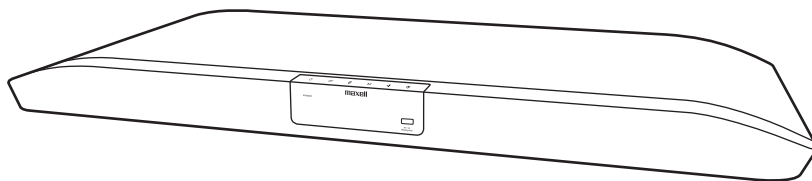


maxell

テレビ用サウンドボード MXSP-SB3000

取扱説明書 保証書付

Ver. 1.0



このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使い
ください。

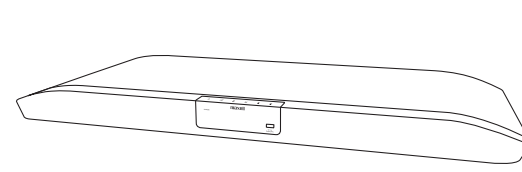
また、この取扱説明書(保証書を含みます)は大切に保管してください。

目次

1. 梱包品の確認	2
2. はじめに	3
3. 安全上のご注意	4
4. 特長	9
5. 対応機種	10
6. 各部の名称と機能	11
7. 準備をする	13
8. 接続する	14
9. 音声を再生する	17
10. Bluetooth接続で音楽を再生する	18
11. 再生中の機能	20
12. 学習リモコンの設定	21
13. HDMIコントロール機能(CEC)の設定	22
14. USB電源出力を使用する	23
15. 故障かな?と思ったときは	24
16. 主な仕様	26
17. 保証とアフターサービス	27

巻末 製品保証書

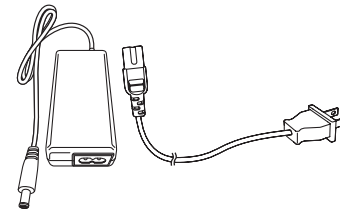
1. 梱包品の確認



本体× 1



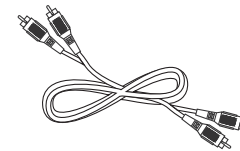
リモコン(電池CR2025×1個付)× 1



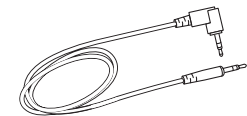
ACアダプタ(電源ケーブル付)× 1



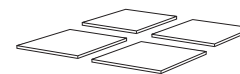
HDMIケーブル× 1



ステレオRCAピンケーブル× 1



直径3.5mmステレオミニプラグケーブル× 1



すべり止めシート× 4

取扱説明書
(保証書付)
× 1

2. はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- 製品を安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をご確認ください。
- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されています。また無断転載は固くお断りします。




免責事項(保証内容については保証書をご参照ください)

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

3. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。




表示の説明

 危険	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷*1を負うことがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性または物的損害*3が発生する可能性があること」を示します。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例		△記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
		⊘記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

警告

水にぬらさないでください。

風呂場、台所、海岸、水辺、屋外では使用しないでください。また加湿器を過度に効かせた部屋や、水がかかる場所での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因になるおそれがあります。



みずぬれ禁止

修理や改造、または分解しないでください。

火災、感電、またはけがをすることがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。



分解禁止

異常時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、水や異物が内部に入った場合、本製品を落下させた場合はすぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になるおそれがあります。



電源プラグを抜く






いたんだ電源コードは使用しないでください。









電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったりしないでください。また重いものをのせたり、本体の下敷きにならないようにしてください。芯線が露出したり断線した場合は、必ず新品のACアダプタに交換してください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になるおそれがあります。



禁止



 警告	
<p>誤った方法で設置・使用しないでください。 本製品をさかさまにしたり、風通しの悪い場所で使用したりしないでください。 また通気性の悪い場所へ押し込まないでください。</p>	 禁止
<p>雷が鳴り出したら使用しないでください。 感電の原因になるおそれがあります。</p>	 感電注意
<p>指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 本製品のACアダプタの指定電源電圧は交流100～240ボルトです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。感電・火災の原因になるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>本製品の落下時、破損時は必ず販売店に点検を依頼してください。 そのまま使用すると、感電・火災の原因になるおそれがあります。</p>	 点検を依頼
<p>電源プラグにホコリがつかないようにしてください。 電気の火花がホコリに引火し、火災の原因になるおそれがあります。定期的にゴミやホコリを取り除いてください。</p>	 電源プラグを清掃
<p>電源プラグは目に見える位置で、手が届きやすいコンセントに差し込んでください。 万一の際、すぐに電源プラグを引き抜けるようにしてください。</p>	 電源プラグは見える位置に
<p>本製品の上にテレビ以外のものを置かないでください。 本製品の上に花瓶や植木鉢、化粧品や薬品、飲料水などが入った容器、および小さな貴金属やプラスチック、木片などを置かないでください。水や異物の混入は感電・火災の原因になるほか、接触面の外装が破損するおそれがあります。</p>	 禁止
<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になるおそれがあります。</p>	 ぬれ手禁止
<p>直射日光が当たる場所や、異常に温度が高くなる場所へ置かないでください。 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。</p>	 禁止
<p>湿気やホコリの多い場所へ置かないでください。 加湿器のそばや調理台の近く、その他ホコリの多い場所に設置しないでください。回路がショートして、火災・感電の原因になるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>ACアダプタを布やカバーで覆わないでください。 熱がこもり、ケースが変形し、火災・感電の原因になるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>専用のACアダプタ以外を使用しないでください。 火災・感電の原因になるおそれがあります。</p>	 禁止










 警告	
<p>電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不十分のまま使用すると、感電やホコリの堆積による火災の原因になるおそれがあります。</p>	 電源プラグを確実に差し込む
<p>ゆるみのあるコンセントは使用しないでください。 電源プラグを差し込んだ時、ゆるみがあるコンセントは使用しないでください。火災・感電の原因になるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>電源コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、感電・火災の原因となる場合があります。引き抜く場合はプラグ部分を持って行ってください。</p>	 禁止
<p>医療機器やワイヤレスの使用が禁止されている場所で使用しないでください。 電波が心臓ペースメーカーや医療用機器に影響を与える場合があります。病院内や鉄道の優先席などワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。</p>	 禁止

 注意	
<p>不安定な場所へ置かないでください。 ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因になるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。 キャッシュカードや定期券、時計などを近づけたり上に置いたりしないでください。スピーカーの磁気の影響でデータ消失や故障する場合があります。</p>	 禁止
<p>薬物を使用しないでください。 ベンジン、シンナー、合成洗剤などで外装を拭かないでください。また接点復活剤を使用しないでください。外装が劣化するほか、部品が溶解するおそれがあります。</p>	 禁止
<p>お手入れの際、長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	 電源プラグを抜く
<p>外部機器の接続には取扱説明書をよくお読みください。 本製品および、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切った状態で接続してください。</p>	 注意
<p>環境気温の急激な変化で、本製品に結露が発生する場合があります。 正常に作動しない場合は、電源を入れない状態でしばらく放置してください。</p>	 注意
<p>小さなお子様の手が届かないように本製品を配置してください。</p>	 強制

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記注意事項を必ずお守りください。

 危険	
電池が液漏れしたとき 電池の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、速やかに医師の診断を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になることがありますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状が現われたときには、ただちに医師の治療を受けてください。	 禁止

 警告	
機器の表示に合わせ、+と-を正しく入れてください。	 強制
火、水の中に入れてください。	 禁止
充電しないでください。	 禁止
分解、加熱しないでください。	 禁止
コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。	 禁止
液漏れした電池は使わないでください。	 禁止
使いきった電池は取り外してください。 長期間使用しないときも取り外してください。	 禁止
指定された電池以外は使用しないでください。	 禁止

ワイヤレス使用上のご注意

本機は2.4GHzの周波数帯を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様ご相談センターまでお問い合わせください。
4. 本機は電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けています。したがって、本機の使用について無線局の免許は必要ありません。ただし製品の分解や改造、認証ラベルをはがすことは禁止されています。
5. 病院内など携帯電話やワイヤレス機器の使用が禁止されている場所ではワイヤレスを使用しないでください。

4. 特長

●薄型テレビ、置くだけ良い音

2.1chサブウーファー内蔵、総合出力130Wデジタルアンプで強力でドライブすることにより、映画やライブをクリアでダイナミックなサウンドで再現します。

●配線スッキリ、お掃除ラクラク

一体型のスリムボディを採用し、テレビの下に設置することでテレビまわりがスッキリ、面倒なお掃除も簡単にできます。

●HDMI(ARC)、デジタル音声入力(光&同軸)対応

お手持ちのテレビがHDMIのARC機能に対応している場合は、音声ケーブルを接続しなくても本製品でテレビの音声を再生することができます。またデジタル音声入力も光と同軸に対応しています。

●SRS WOW HD搭載

立体音響技術「SRS WOW HD」を搭載し臨場感と実体感・明瞭感のある音を再現します。

3D:録音時や伝送路で失われた空間情報を補い臨場感あるサラウンド音場を再生します。

TruBass:原音に含まれる低音の高調波成分を再生し実体感のある低音を再現します。

Focus:仮想音源位置を上を持ち上げます。

Difinition:解像度を補正し音の輪郭を明瞭にします。

●簡単ワイヤレス接続Bluetooth搭載

スマートフォンやタブレットなどとBluetoothで簡単接続、ケーブルを接続することなく音楽を聴くことができます。

●USB電源端子付

スマートフォンなどの充電に便利なUSB電源出力端子(DC5V/1A)を搭載しています。

※USB通信機能には対応していません。

5. 対応機種

テレビ対応機種

音声出力がHDMI(ARC)、デジタル(光)、デジタル(同軸)、RCA、3.5mmイヤホンのいずれかを備えたテレビと接続することができます。

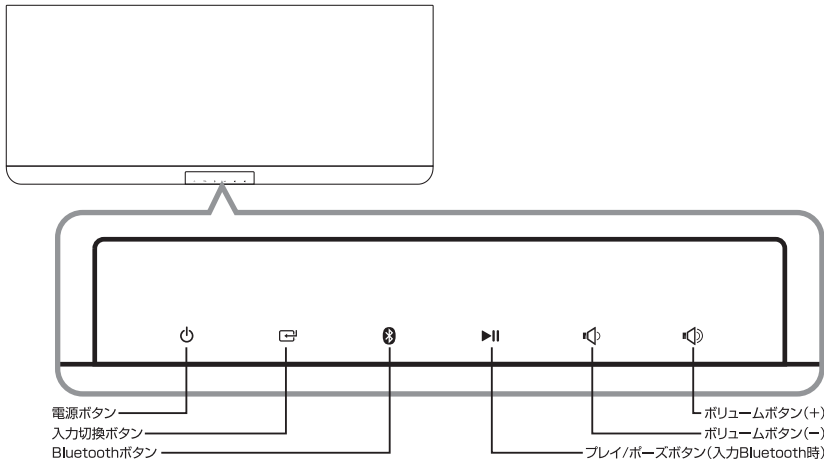
Bluetooth対応機種

A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応したBluetooth機器とワイヤレス接続ができます。

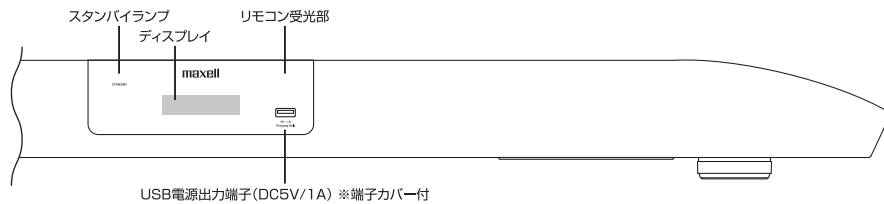
※すべてのBluetoothおよびテレビとの接続を保証するものではありません。

6. 各部の名称と機能

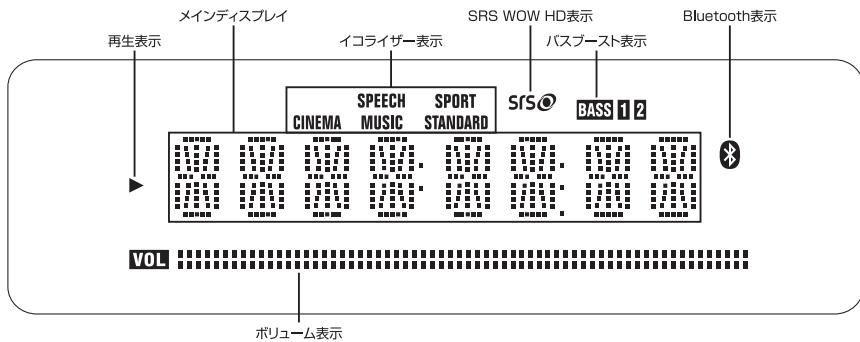
本体天面



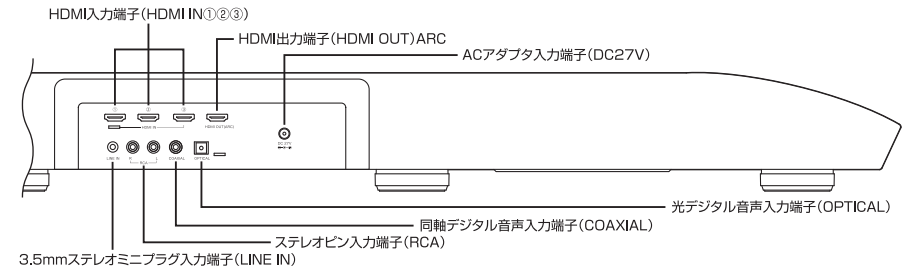
本体前面



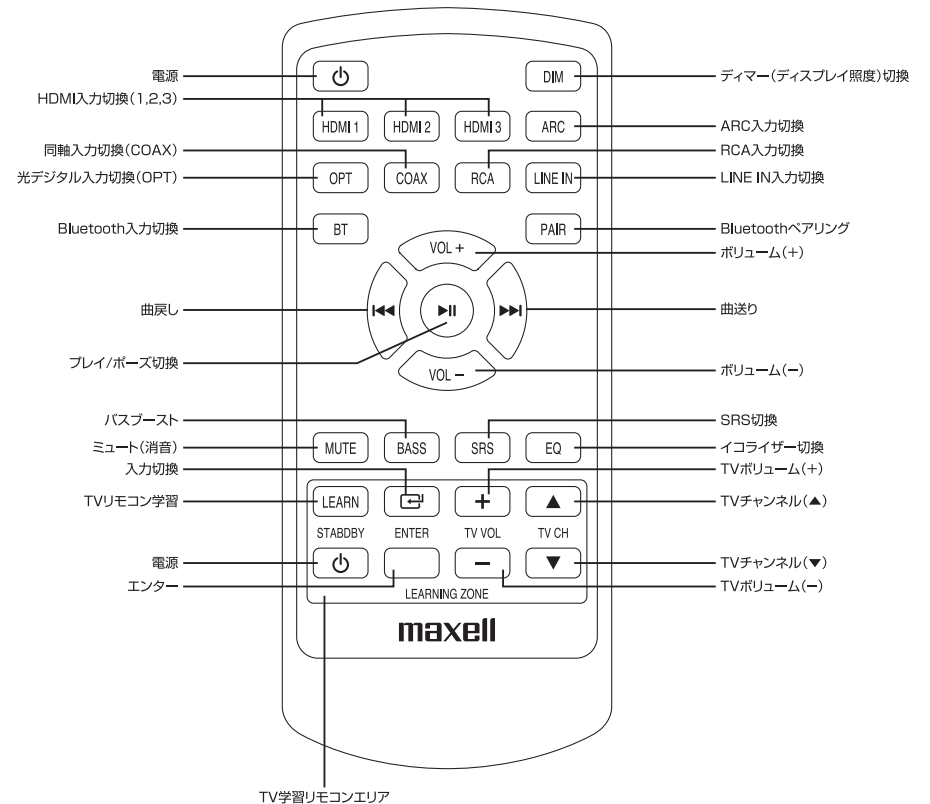
ディスプレイ



本体背面



リモコン

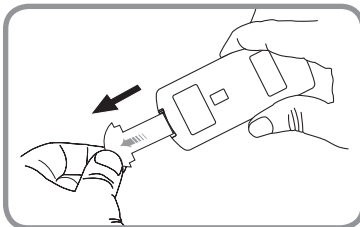


7. 準備をする

リモコンの準備

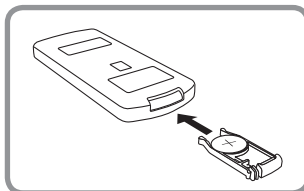
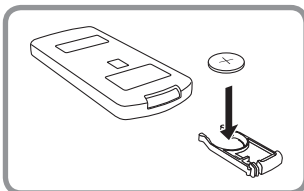
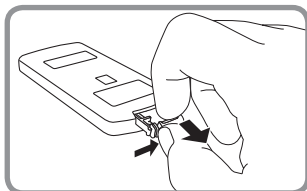
リモコンの絶縁シートを取り出します。

※付属のリモコンには、おためし用電池があらかじめ入っています。
初めてご利用の際には、電池カバーを開け、絶縁シートを取り出してご利用ください。



リモコンの電池交換

1. 電池カバーをスライドさせて開けます。
2. ボタン電池を入れ替えます。(CR2025)
3. 電池カバーをスライドさせて閉めます。



警告 電池の向きを正しく入れてください。

本体の設置

1. テレビラック上に本製品を設置します。

※衝撃を与えないように取り扱いください。
※本製品やテレビは重量物となりますので、落下などでけがをしないよう設置には十分ご注意ください。また、テレビラックのサイズ・耐荷重をご確認ください。
テレビラック推奨サイズ:
930mm(幅)×390mm(奥行き)以上

2. 本製品上にテレビを設置します。

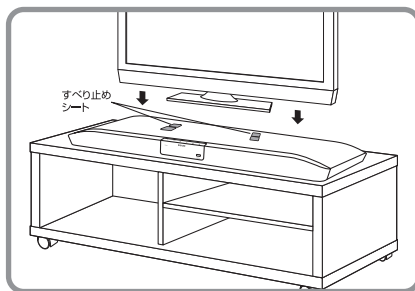
※テレビの脚が本製品からはみ出さないように設置してください。

テレビの脚サイズ:640mm(幅)×380mm(奥行き)以下
テレビの質量:60kg以下

※テレビのすべり止めシートを付属しています。テレビのすべりを防ぐためにご使用ください。
すべり止めシートは材料の性質上、長期間設置することにより変色や跡が残ることがあります。

※テレビの転倒防止のため、テレビで指定された転倒防止方法を実施してください。テレビの転倒防止ベルトを使用する場合は、本製品には固定せず、テレビとテレビラックを直接固定してください。

※キャッシュカードや定期券、時計などを近づけたり上に置いたりしないでください。スピーカーの磁気の影響でデータ消失や故障する場合があります。



8. 接続する

1. テレビと本製品を接続する。

テレビと本製品の接続は、お手持ちのテレビ機能により以下の接続からお選びください。

<HDMIケーブルで接続する場合>

お手持ちのテレビがHDMIのARC機能に対応している場合は、テレビのHDMI入力(ARC)端子と本製品のHDMI出力(ARC)端子を付属のHDMIケーブルで接続します。

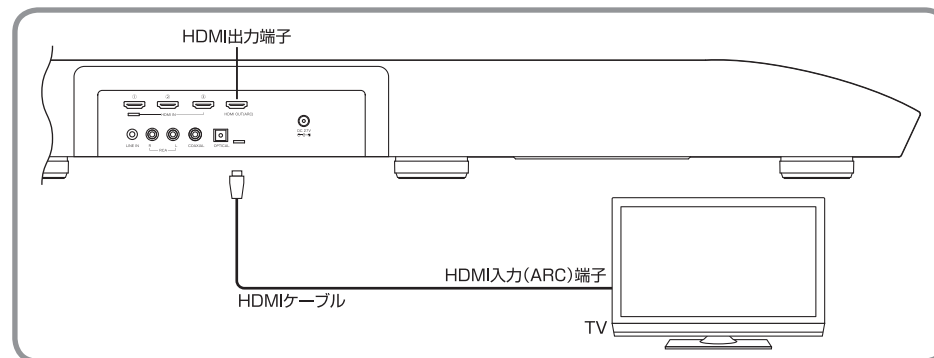
※ARC(Audio Return Channel)機能とは、HDMI接続している機器同士の音声信号を相互に伝送する機能です。

※音声信号は、テレビのHDMI入力から本製品のHDMI出力に送られます。注意して接続ください。

※テレビのARC機能を使用するためには、テレビの設定が必要な場合があります。

テレビの設定については、テレビの取扱説明書を参照ください。

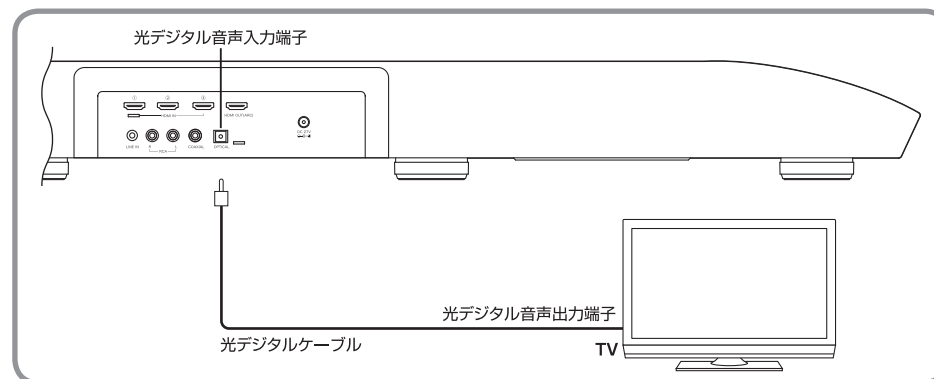
※テレビのデジタル音声出力はPCM(サンプリング周波数48kHz以下)を選択ください。



<光デジタルケーブルで接続する場合>

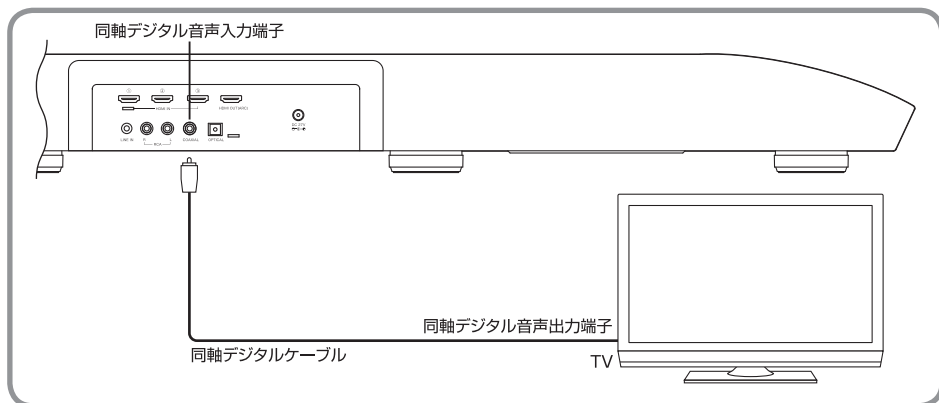
お手持ちのテレビが光デジタル音声出力機能に対応している場合は、テレビの光デジタル音声出力端子と本製品の光デジタル音声入力端子(OPTICAL)を市販の光デジタルケーブルで接続します。

※テレビのデジタル音声出力はPCM(サンプリング周波数48kHz以下)を選択ください。



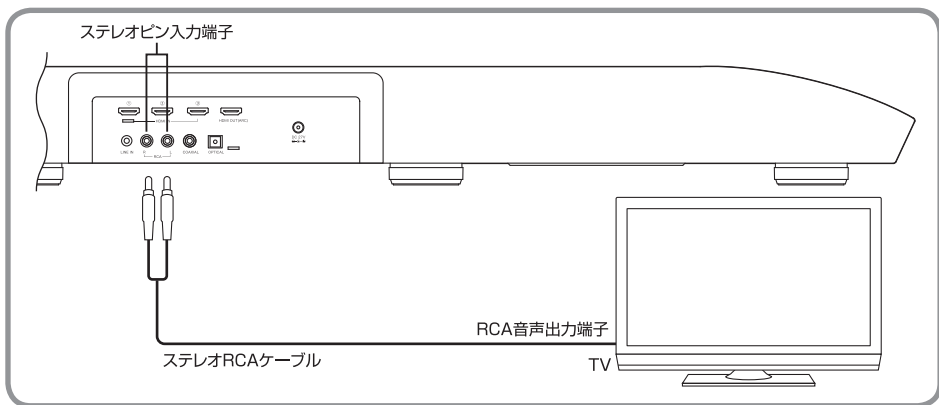
<同軸デジタルケーブルで接続する場合>

お手持ちのテレビが同軸デジタル音声出力機能に対応している場合は、テレビの同軸デジタル音声出力端子と本製品の同軸デジタル音声入力端子(COAXIAL)を市販の同軸デジタルケーブルで接続します。



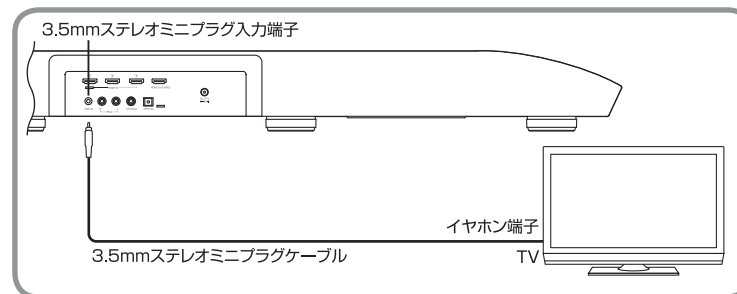
<RCAケーブルで接続する場合>

テレビの音声出力端子(RCA音声出力端子)と本製品のステレオピン入力端子を付属のRCAケーブルで接続します。



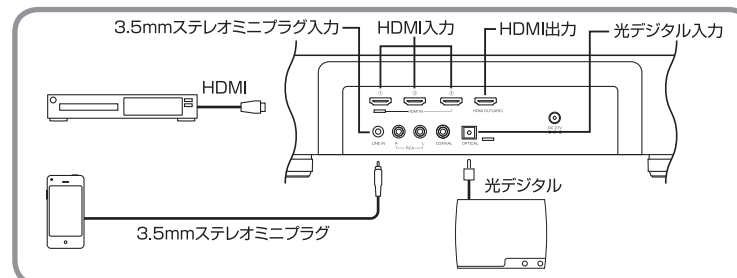
<ステレオミニプラグケーブルで接続する場合>

テレビのイヤホン端子と本製品のステレオミニプラグ入力端子(LINE IN)を付属のステレオミニプラグケーブルで接続します。



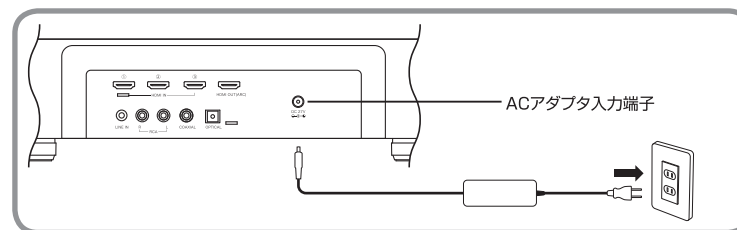
<その他の接続>

ブルーレイプレイヤーやCDプレイヤー、ゲーム機、デジタルオーディオプレイヤーなどを本製品に直接接続して再生することができます。



2. ACアダプタを接続する。

本製品のACアダプタ入力端子に付属ACアダプタを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。



警告

付属の専用ACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

9. 音声を再生する

1. テレビの電源を入れる。

テレビの電源を入れます。

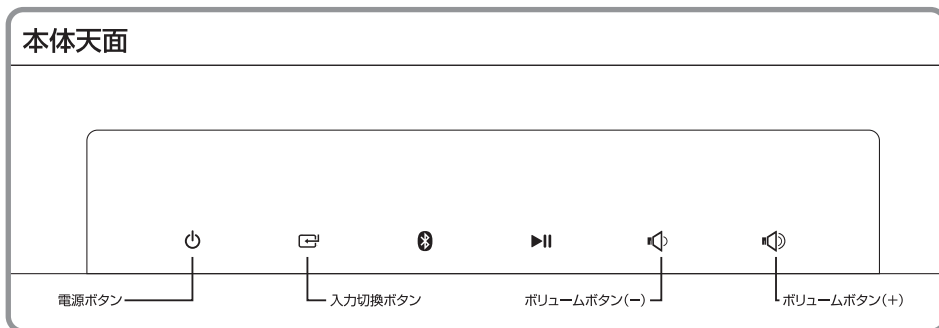
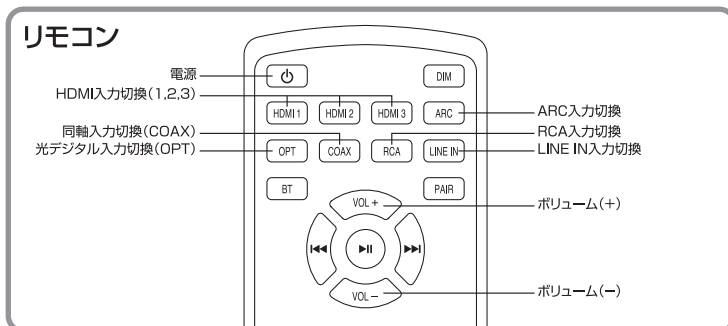
テレビとHDMIまたはRCA・LINE INで接続した場合は、オートパワーオン機能により本製品の電源が入ります。(4.にお進みください)

※HDMI接続の場合、テレビ機種や設定条件によってはオートパワーオン機能がはたらかない場合があります。

※RCAおよびLINE IN接続の場合、テレビの音量が小さい場合はオートパワーオン機能がはたらかない場合があります。

2. 本製品の電源を入れる。

リモコンまたは本製品天面の電源スイッチを押して電源を入れます。



3. 入力ソースを切り換える。

本製品上面の入力ボタンを押して、接続した入力に合わせて入力ソースを切り換えます。本製品上面の入力切換ボタンは、HDMI 1→HDMI 2→HDMI 3→HDMI ARC→OPTICAL→COAXIAL→RCA→LINE IN→BTの順に切り換わります。リモコンの場合は、各入力切換ボタンを押してください。

4. ボリュームを調整します。

リモコンまたは本製品のボリュームボタンを押して音量を調整します。

※テレビのイヤホンジャックに接続した場合は、テレビのボリュームも合わせて調整します。

※低音が多く含まれる音源を再生すると、音量や設置環境により振動が発生することがあります。この場合は、ボリュームを下げてご使用ください。

10. Bluetooth接続で音楽を再生する

お手持ちのBluetoothを搭載したスマートフォンや携帯電話の音楽をワイヤレスで送信し、本製品より再生することができます。最初に接続する場合には以下のペアリングをおこなってください。以降はペアリングをせずに接続ができますが、近くに別の機器や電子レンジ等の送信源がある場合には接続されない場合があります。この場合は再度ペアリングをおこなってください。

1. お手持ちのBluetooth機器と本製品を1m以内に置きます。

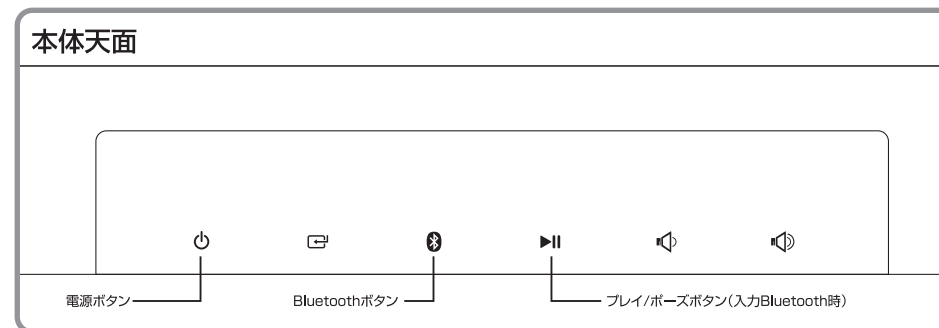
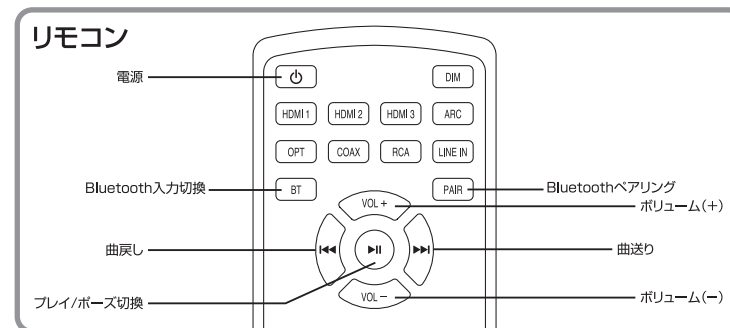
2. お手持ちのBluetooth機器の電源を入れ、Bluetooth接続に設定します。

※Bluetooth機器の設定については取扱説明書をご確認ください。

3. 本製品の電源をONにします。

4. リモコンまたは本製品のBluetoothボタン(Bluetooth)を押して、音声入力をBluetoothに切り換えます。

※接続しているBluetooth機器がない場合は、ディスプレイに"NO BT"を表示します。



5. リモコンのペアリングボタン(PAIR)または、再度本製品天面のBluetoothボタン(🔗)を押すとペアリングモードとなります。
 6. お手持ちのBluetooth機器では検出した機器の一覧が画面に表示されますので、一覧の中から“MXSP-SB3000”を選択し接続操作をおこないます。本製品のBluetooth表示が点滅をやめ点灯となり、“BT”が表示されればペアリング完了です。
 - ※Bluetooth表示が点灯とならない場合は、再度「4.」から設定してください。
 - ※お手持ちのBluetooth機器でパスワードの入力を要求されたら“0000”を入力します。パスワードは、パスワード、パスキー、PINコードなどと呼ばれる場合があります。
 7. お手持ちのBluetooth機器の音楽を再生します。
 8. 本製品のボリュームとお手持ちのBluetooth機器のボリュームでお好みの音量に調整してください。
 - ※Bluetooth通信の距離は約10mです。この範囲内で機器を設置してください。
 - ※お手持ちの機器がプロファイルA2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応していない場合は、本製品から音声は再生されません。
 - ※本製品のパスワードは“0000”に固定されています。パスワードが“0000”ではないBluetooth機器とは接続することができません。
 - ※接続する機器の情報は8台まで内部にメモリーされ、再接続する場合にはペアリングなしで接続することができます。9台以上ペアリングをおこなうと最初にメモリーされたペアリング情報が消去され、新たにペアリングをおこなった機器の情報が書き込まれます。
 - ※SCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しており、SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音声を本製品で聴くことができます。ただし音声には若干の遅延が生じます。
- お手持ちのBluetooth機器がプロファイルAVRCPに対応している場合は、本製品のリモコンで以下の操作ができます。ただし機種によっては操作が異なったり使用できない場合もあります。
- プレイ/ポーズ:音楽再生中にリモコンまたは本製品天面のプレイ/ポーズボタン(▶||)を押します。
- 曲戻し/曲送り:音楽再生中にリモコンの曲戻し/曲送りボタン(◀◀/▶▶)を押します。
9. 音楽を聴き終えたら、お手持ちのBluetooth機器の再生を停止して、本製品の電源をOFFにしてください。

11. 再生中の機能

1. SRS WOW HD

リモコンのSRSボタン(SRS)を押すとSRSの音響効果を得ることができます。SRS動作中はディスプレイに“SRS”が表示されます。再度SRSボタンを押すとSRSはOFFとなります。

2. バスブースト

リモコンのバスブーストボタン(BASS)を押して、お好みの低音音量を選択できます。ボタンを押すと、バスブースト 0 [OFF] → バスブースト 1 [小] → バスブースト 2 [大]の順番で低音音量が切り換わります。

3. イコライザー

リモコンのイコライザーボタン(EQ)を押して、お好みの周波数バランスを選択できます。ボタンを押すと、STANDARD → CINEMA → SPEECH → MUSIC → SPORTの順番で切り替わります。イコライザーは代表的な調整をしています。ジャンルに関係なくお好みに応じて選択してください。

4. ミュート

リモコンのミュートボタン(MUTE)を押して消音することができます。再びミュートボタンを押すとミュートは解除されます。

5. オートパワーオン/オフ

HDMI接続の場合、HDMIコントロール機能により、テレビと連動して電源のオン/オフができます。(13.HDMIコントロール機能(CEC)の設定 参照)

RCAやLINE IN接続の場合、スタンバイモード中にテレビの音声が入力されると自動で電源オンとなります。また、テレビの音量が約3分間小さくなるとオートパワーオフ機能によりスタンバイモードとなります。

※HDMIコントロール機能は、テレビ機種または設定条件によっては動作しない場合があります。

※光や同軸デジタル音声接続の場合は、オートパワーオン/オフは動作しません。ただし同時にHDMI接続をした場合にはHDMIコントロール機能により動作することがあります。

※再生中に本製品の電源スイッチで電源をオフとした場合には、オートパワーオン機能は動作しません。手で電源を入れてください。

※音源の音量レベルやノイズレベルによっては動作タイミングが前後することもあります。故障ではありません。

※電源オンした場合、通常は最後に使用した入力で起動します。ただしHDMI、RCAやLINE IN接続を同時に使用した場合は信号の入力タイミングにより入力が変わる場合があります。

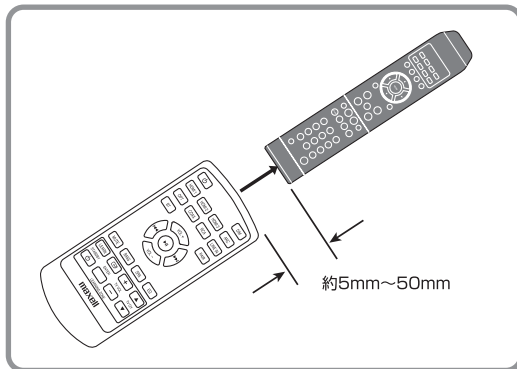
6. デイマー

リモコンのデイマーボタンを押して、本製品ディスプレイの明るさを切り換えることができます。ボタンを押すと明るさが4段階に切り換わります。

12. 学習リモコンの設定

テレビ付属のリモコン機能の一部を本製品付属のリモコンに記憶させることができます。記憶できるリモコン機能は、本製品付属リモコンのTV学習リモコンエリアのボタンとなります。

1. 本製品付属のリモコンとテレビ付属のリモコンを向い合せてセットします。



2. 本製品付属リモコンの学習ボタン(LEARN)を約2秒長押しすると、学習モードとなり学習ボタンが点灯します。

※約10秒間操作がない場合は通常のリモコンモードに戻ります。再度はじめてから設定してください。

3. 本製品付属リモコンの学習させたい機能ボタンを押すと、学習ボタンが点滅を開始します。
4. テレビ付属リモコンの学習させたい機能ボタンを押します。本製品のリモコンが正常に受信した場合は学習ボタンが3回早い点滅をします。正常に受信できなかった場合は「3.」の点滅を繰り返しますので、再度機能ボタンを押して記憶させます。
5. 「3.」から「4.」を繰り返して、他の機能を同様に記憶させます。
6. 本製品付属リモコンの学習ボタン(LEARN)を押して学習機能を終了します。終了すると学習ボタンが消灯します。

※テレビのリモコンが赤外線を利用したリモコンでない場合は、学習機能を利用することはできません。

※リモコンの信号によっては学習機能を利用できない場合があります。

13.HDMIコントロール機能(CEC)の設定

本製品とお手持ちのテレビを接続し、テレビのHDMIコントロール機能を有効にすると電源などを連動させることができます。

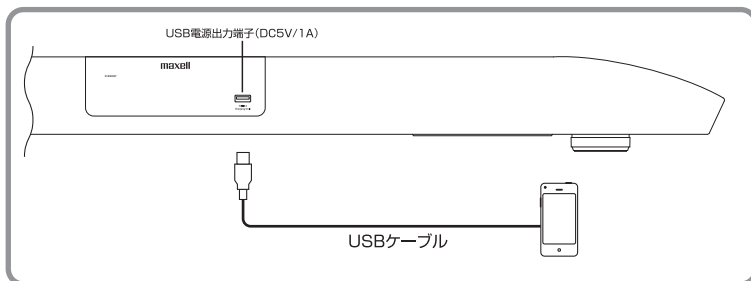
1. 本製品とテレビを付属のHDMIケーブルで接続します。
2. テレビと本製品の電源を入れます。
3. テレビのHDMIコントロール機能を有効にします。
※テレビのHDMIコントロール機能の設定については、テレビの取扱説明書を参照ください。
4. テレビの電源を一度OFFにして、再度電源を入れます。テレビの電源にあわせて、本製品の電源が連動するか確認してください。

※接続するテレビや機器の設定条件によっては、HDMIコントロール機能がはたらかない場合があります。

※再生中に本製品の電源スイッチで電源をオフにした場合は、テレビの電源を入れても本製品の電源はオンになりません。手動で電源を入れてください。

14. USB電源出力を使用する

1. 本製品前面のUSB端子カバーをはずし、お手持ちの機器とUSB電源出力端子をお手持ちのUSBケーブルで接続します。



2. お手持ちの機器の画面に[充電中マーク]が表示されれば充電中となります。
3. お手持ちの機器の画面に[充電完了マーク]が表示されれば充電完了です。
4. 充電が完了したら機器をUSBケーブルより取り外してください。

※本製品のUSB端子は電源出力専用です。USB通信機能には対応していません。
 ※USB電源出力はDC5V/1Aです。この容量を超える機器の充電はできません。

15. 故障かな?と思ったときは

症状	対策
電源が入らない	<p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプタと本製品との接続を確認してください。 ・リモコンまたは本製品天面の電源ボタンを押してください。 <p><HDMI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDMIのCEC機能を使用する場合は、テレビの取扱説明書を確認してテレビの設定を行ってください。(13.HDMIコントロール機能(CEC)の設定 もご確認ください)
電源が切れる	<p><RCA・LINE IN></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビの音量を上げてください。(11.再生中の機能→5.オートパワーオン/オフ 参照)
音が出ない	<p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビと本製品の接続を確認してください。 ・入力切替が合っているか確認してください。 ・テレビの電源がオンとなっているか確認してください。 ・本製品のボリュームを上げてください。 ・本製品がミュートでないことを確認してください。 <p><HDMI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ARC接続の場合は、テレビがARC機能に対応しているか確認してください。 ・ARC接続の場合は、テレビのARC機能を備えたHDMI入力端子に接続しているか確認してください。 ・テレビのARC設定については、お手持ちのテレビの取扱説明書を確認してテレビの設定をしてください。 ・テレビの音声出力がPCM(サンプリング周波数48kHz以下)となっているか確認してください。 <p><光・同軸デジタル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビの音声出力がPCM(サンプリング周波数48kHz以下)となっているか確認してください。 <p><RCA・LINE IN></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのボリュームを確認してください。 <p><Bluetooth></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bluetooth接続機器が再生状態か確認してください。 ・Bluetooth接続機器がA2DPに対応しているか確認してください。

16. 主な仕様

症状	対策
音がひずむとぎれる	<共通> ・テレビラックなどが振動していないか確認してください。テレビラックなど置台が振動している場合は本製品の音量を下げてください。
	<RCA・LINE IN> ・テレビの音量を下げてください。 ・テレビのバスブーストなどの機能をオフにしてください。
	<Bluetooth> ・Bluetooth再生する機器の音量を下げてください。 ・Bluetooth再生する機器のバスブーストなどの機能をOFFにしてください。 ・Bluetooth電波の届く距離は約10mです。また障害物で電波がさえぎられた場合は電波の届く距離が短くなりますので、障害物を取り除くかスピーカーと接続機器の位置を近づけてください。 ・周辺に無線や電子レンジなどの機器がないか確認してください。近くに設置されている場合は場所を移動してください。
リモコンがきかない	<共通> ・リモコンと本製品の距離を近づけてください。 ・リモコンの信号をさえぎる障害物がないか確認してください。 ・リモコンの電池の向きを確認してください。 ・リモコンの電池を交換してください。

動作や表示の問題が解決しない場合は、ACアダプタをはずして接続しなおしてください。本製品の設定が初期状態にリセットされます。 ※Bluetoothのメモリ内容は残ります。

実用最大出力	総合出力130W(フロント30W×2、サブウーファー70W)
スピーカーユニット	フロント直径40mm×4、サブウーファー直径70mm×2
再生周波数特性	40Hz～20kHz
入出力端子	HDMI入力×3、HDMI出力(ARC)×1、光デジタル音声入力×1、同軸デジタル音声入力×1、ステレオピン入力×1、直径3.5mmステレオミニプラグ入力×1
Bluetooth	Ver.4.0、プロファイル A2DP/AVRCP、コーデック SBC/aptX、コンテンツ保護SCMS-T、通信距離 約10m
電源	DC27V/2.4A(付属ACアダプタ)
消費電力	40W(待機電力0.5W)
外形寸法	幅930×高さ78×奥行き390mm(突起部を除く)
質量	約8.4kg(本体のみ)
付属品	リモコン(電池CR2025×1個付)、ACアダプタ(電源ケーブル付)、HDMIケーブル、ステレオRCAピンケーブル、3.5mmステレオミニプラグケーブル、すべり止めシート

記載の内容は2013年8月現在のものです。
製品の仕様およびデザインは改良のため予告なく変更する場合があります。

17. 保証とアフターサービス

■保証書に関して

保証書はかならず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上で、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

■部品の保有期間について

本製品の部品の保有期間は5年です。

日立マクセル株式会社 | お客様ご相談センター
〒102-8521 | TEL.(03)5213-3525
東京都千代田区飯田橋2-18-2 | FAX.(03)3515-8261

<http://www.maxell.co.jp>

無料修理規定

1. 万一製造上の理由により本製品が故障した場合は、この保証書を添えてお買い上げ店にお届けください。正常なご使用状態で購入後1年以内であれば、当社にて無料で修理または交換いたします。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用はお客様にご負担願います。
2. 保証期間内でも次のような場合には有料になります。
 - 1)ご依頼の際、保証書の添付がない場合。
 - 2)使用上の誤り(取扱説明書、取扱上の注意事項以外の誤操作など)により生じた故障。
 - 3)修理・改造・分解などによる故障。
 - 4)お取り扱い上の不注意(落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、機器内部への水、砂、薬品の入り込みなど)、手入れの不備(カビ発生、チリ・ホコリ等)による故障。
 - 5)本体以外の付属品および消耗品。
 - 6)一般用途以外(例えば、業務用の著しい連続使用、船舶への搭載など)に起因する損傷。
 - 7)故障の原因が本製品以外(供給電源など他の機器)にあって、それを点検・修理した場合などの損傷。
 - 8)前記以外で当社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
3. 本製品の故障に起因する二次的な損害(期待した利益の喪失、精神的な損害など)の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
4. 本保証書は日本国内のみにおいて有効です。

This warranty is valid only in Japan.